

# 高齢者のやすらぎの家 やまね



## すみの保育園との交流

8月29日、すみの保育園で園児と「やまね」の交流がありました。

「やまね」から7名が出席しました。園に着くと、園児の代表から名前が書かれた名票を首に掛けてもらいました。

園児の歓迎のことばにつづいて、野だてをいただき、そのあと歌やおどり、ピアノの演奏などがありました。

「やまね」からは、お手玉遊び、ゲー・パーの指の体操、草の葉を手に乗せてたたくと葉の破れるときパーンと音が出たり、ストローを吹いて低い音から高い音まで出す遊びを披露しました。

そのあと、お昼を一緒にいただきました。食事のとき、なぜか男性の高齢者(1名)があっちこちのテーブルから「ここに来て」と引っ張りだこに合いました。

うれしくて楽しい思い出を園児にたくさんいただきました。

最後に、園児からお土産をいただきました。

2時間の交流でした、帰りには、お土産に「かたたたき」や「まごの手」をいただきました。さっそく使っています。

園児さんありがとうございました。

「やまね」にも遊びに来てくださいね。待っていますよ。

# だより

No. 19

発行者 ボランティアグループ なの花

代表 森田 元治

発行所 792-0841 新居浜市中西町16-20

「やまね」Tel 0897 41-0104

発行日 2008.10.10

## ボランティア研修に参加

県のボランティア協議会の研修が、9月6日伊予市のウエルピア伊予であり、「やまね」からも一人参加しました。

## 朝日新聞から寄付

9月25日 朝日新聞の新居浜ブロック会を代表して猪野雄二さんからボランティアグループ「なの花」に20万円の寄付をいただきました。

これは、朝日新聞の販売店が、新居浜市文化センターで開催した「朝日ファミリー劇場」の来場者に呼びかけ、それに応じていただいた募金や市民からの寄付などによるものです。

このたび、福祉の分野で高齢者の生きがいの支えなどに取り組んでいる「なの花」を選んでいただきました。

誠にありがとうございました。

寄付いただいた善意は、今後予定しているクリスマス会やイベントなどに有効に活用させていただきます。

なお、寄付には当っては、朝日新聞新居浜支局長の取材を受けました。





## ボランティアフェスティバル

10月5日 高木町のふれあいプラザで市内の福祉施設やいろんな分野で活動しているボランティアの団体が集まって「生き生きボランティアフェスティバル」が雨の中開かれました。

参加した団体は約60でした。

「やまね」からは、ボランティアと利用者が協力して作り上げた布ぞうり、食器洗いのアクリルたわし、お手玉、それに寄贈いただいた写真入れなどを出展しました。

会場では、見るもの、聴くもの、触れるもの、試してみるもの、食べるものがあり、なかでも要約筆記でのパソコンやイラストを書くテーブルは子どもたちに人気でした。

それに、コーヒー、すし、たこ焼き、お好み焼き、いもだきなども上々でした。

「やまね」の布ぞうりは、なかなかの売れ行きでした。作り方に興味を持った方から話しかけられることがたびたびありました。



フェスティバル会場で

## 敬老の日のプレゼント

9月15日の敬老の日に「やまね」の利用者や近くの高齢者を訪問し、気持ちだけでは、プレゼントをさせていただきました。



プレゼントの準備

## 商業高校生が

## ボランティア体験に

10月9日に新居浜商業高校1年の2名が「やまね」でボランティア体験をしました。

「やまね」が出来た経緯や高齢者と接する場合のボランティアの心構えなどについて代表から話をしました。

また、日常どんなことをしているかを観てもらい、さらに生徒に実際に同じようなことを体験してもらいました。

また、高齢者のはなしも聞いてもらいました。

最後に、生徒に感想を聞きました。モヤットボールやぞうりづくりに挑戦してそれが出来上がったのでとても楽しかったということでした。



高齢者と新高校生

## アルミ空き缶の回収に感謝

アルミ空き缶やプルタブの回収に多くのおみなさんのご協力をいただいていることに心より感謝申し上げます。

これからもよろしくご協力の程お願いいたします。